

しかしながら、前述した来年のビッグイベントのひとつ、「米大統領実施年」の為替変動を調べてみたところ、1990 年以降で「平均年間変動幅(16-17%)」を明確に上回ったのは 2008 年だけ(22.2%)。それを除く

なお、株式市場を中心に指摘されることの多い、相場格言からみた「干支と相場の関係性について」だが来年の干支は「子（ね＝ねずみ）」で、子だくさんの意味合いもあってか、「繁栄」とされている。ご承知のとおり、NYダウなど米株は年末近いこの時期にきて史上最高値を更新するなど、堅調な値動きをたどっているものの、先の話からすると、来年はさらなる上昇が期待できるのかもしれない。

そして、仮に米株高が来年も続くとすれば、為替市場においてもドル高傾向が継続するという展開が見込まれるのだが、果たして実際のところは如何に!?（了）

Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved